

事業番号	15 01 17	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	科学捜査力充実事業			担当課	部局	警察本部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	鑑識課・科学捜査研究所		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 1 犯罪のない安全な社会づくり		E-mail	police-kanshiki@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	S29 ~		

1 事業の概要

目指す姿	科学捜査資機材の整備・充実により、鑑定業務や鑑識活動の効率化を図り、巧妙化・広域化・スピード化する犯罪に迅速かつ的確に対処して、犯罪の早期検挙を図るとともに、収集した証拠の綿密な分析による事件立証を行い、県民が安全に暮らせる社会の実現を目指す。	
現状（予算編成時）	裁判員裁判制度の定着化、犯罪死見逃し防止のための死因究明制度等、捜査を取り巻く環境の変化により、客観的証拠を重視した捜査の確立が求められ、時代の要請に応じた最先端の機器整備による科学捜査力の強化、整備が急務となっている。	

県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務） 県民との協働による実施：実施は困難	【左記の説明、根拠法令等】 警察法、警察法施行令、警察官職務執行法 刑法、刑事訴訟法、犯罪捜査規範
----------	--	---

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	○ 県民が不安を感じる重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買、強制わいせつ）の検挙率向上（70%） ○ 適正な鑑定業務による誤鑑定の絶無					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績		
				H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
		1.鑑定・検査用試薬等消耗品	直接	・DNA型鑑定試薬、指紋情報管理システム等消耗品	13,758	13,157
	2.各種鑑定用機器部品交換	直接	・鑑定用機器の部品交換	799	730	1,067
	3.各種鑑定用機器保守	直接	・鑑定用機器の保守点検	8,093	8,424	8,114
	4.各種鑑定用機器のリース等	直接	・鑑定用機器のリース料、鑑定機器の整備	88,415	86,155	86,382
	5.各種学会負担金	直接	・鑑定技術向上のための各種学会への参加	166	166	166
	合計			111,231	108,632	112,795

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		当初予算	110,003	109,147	111,231	112,795			目標	成果	達成状況	
		補正予算					重要犯罪検挙率	(H21~H25平均) 68.0%	(H29) 70%	65.9%	未達成	(H29) 70%
		合計(A)	110,003	109,147	111,231	112,795						
	Aの財源	一般財源	110,003	109,147	111,231	112,795	誤鑑定の絶無	0件	0件	0件	達成	0件
		県債										
		国庫支出金										
		その他	0	0	0	0						
	決算額(B)	108,715	107,941	108,632								
概算人件費	職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01							
	概算人件費(C)	83	83	83	83							
概算事業費(B(A)+C)	108,798	108,024	108,715	112,878								

目標に対する成果の状況	重要犯罪の検挙率は目標達成には至らなかったものの、犯罪検挙力を強化するため、鑑識、鑑定による科学捜査の推進により、平成26年は松本市内における殺人事件、長野市内アパートにおける強姦事件、松本市島内におけるコンビニエンスストア対象持凶器強盗事件等、県下で発生した多くの重要犯罪検挙に貢献した。 また、御嶽山噴火災害における検視業務においても、DNA型鑑定は身元特定に大きく貢献した。 さらに、適切な鑑定機器の管理と使用及び鑑定資料の管理に努め、誤鑑定は皆無であった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	科学技術や情報化の進展等に伴う高度化・複雑化した犯罪に対応し、犯罪検挙力を強化するためには、客観的証拠による的確な立証が必要である。事件発生後の初動段階から高度な科学技術を活かし、迅速かつ的確な客観的証拠収集と適正な鑑定を実施するため、今後とも科学捜査力を充実する必要がある。